

瑞穂市食育推進会議会議録

審議会等の名称	第 1 回 瑞穂市食育推進会議
開催日時	平成21年6月25日(木曜日) 午後2時00分から4時00分
開催場所	瑞穂市役所穂積庁舎3階大会議室
議 題	(1) 会議の公開・非公開について (2) 瑞穂市食育推進会議の主旨 (3) 瑞穂市の食育推進の取組状況について (4) 計画策定に向けての今後のスケジュール (5) その他
出席委員 欠席委員	出席委員(会長) 小川宣子(副会長) 福野寿英 石山絹子、馬場晴美、 大野和代、加藤嗣泰、河野秀明、小林京子、千田美穂子、棚橋和子、 林春代、広瀬弥恵子、松久智子 欠席委員 加藤悟、堀口峯子
公開の可否 (非公開理由)	可
傍聴人数	0 人
審議の概要	(1) 会議の公開・非公開について 下記のことを決定しました。 ① 会議は公開することとする ② 傍聴者の定員は5名とする (ただし希望者が多い場合は改めて検討する) ③ 傍聴希望者が定員を超えた場合は抽選とする ④ 傍聴手続きは、入り口で氏名及び住所を記載してもらう (2) 瑞穂市食育推進会議の主旨説明 事務局より下記の通り説明しました。 国が策定した食育基本法では、都道府県、市町村は食育推進計画を作成するように努めることとされています。そして、平成22年度末までには計画を作成・実施している割合を、都道府県は100%、市町村は50%以上とすることを目指すこととしています。岐阜県も平成19年3月に岐阜県食育推進計画を策定しました。近隣の岐阜市、大垣市、本巣市も食育推進計

画をすでに策定しています。こういった国や県の動きに対応して、瑞穂市も21年度中の瑞穂市食育推進計画の策定を目指すこととしました。20年度中に策定にあたって、まず市内連絡を図るため、食育関係5課で構成した市内会議を開催し、課ごとに資料収集や、アンケート調査等を行いました。これらをもとにこの食育推進会議で、食に関わる関連団体の代表者のみなさま、公募者3名の方を含め15名で食育推進会議委員として、食育推進計画の作成及び実施の推進に係る事項、食育の推進に関する重要事項を審議していただき策定を目指したいと思います。

(3) 瑞穂市の食育推進の取組状況について

平成20年度における市の取組状況を、ライフステージ別に内容を説明しました。

① 妊娠期・乳幼児期

- ・ 母子手帳交付時の食事相談・妊婦教室での妊娠中の食生活、離乳食作りの指導を行っています。
- ・ 各健診時に栄養相談を行っています。

② 保育園・幼稚園にて

- ・ 野菜を育てる体験を行っています。収穫をしたものは、カレー、バーベキュー、おやき、芋きんとん、鬼まんなどにして食べています。
- ・ 地域の老人会・園児の祖父と一緒にもちつきをしています。
- ・ 給食参観・試食を行い、保護者に給食を知ってもらっています。

・・・等

③ 小中学校にて

- ・ 野菜を育てる体験を行っています。収穫をしたものは、カレー、バーベキュー、おやき、芋きんとん、鬼まんなどにして食べます。またポップコーン・きな粉・豆乳・豆腐など加工して食べています。
- ・ 地域のボランティアの方の協力を得て、無農薬、手作業による合鴨農法で米作りをしています。
- ・ 学年ごとにテーマを決め、全学校を学校栄養士が回り食に関する指導を行っています。
- ・ 毎月「食育だより」を発行し家庭との連携を図っています。

・・・等

④ 青年期以降として

- ・ 血糖コントロール教室を開催しています。糖尿病になるリスクの高い方に、各スタッフがサポートしながら、現在の自分の体の状態を把握してもらい、糖尿病の予防を行っています。
- ・ 瑞穂市食生活改善協議会による料理教室（親子・男性向け等）を開催しています。
- ・ 瑞穂市女性の会の活動。成人女性を対象に、食生活改善等を目的とした調理実習を行っています。またテーブルマナーの講習を受けています。
- ・ 土地を購入しなくても気軽に農業を楽しめるよう、ふれあ

い農園を開設しています。

- ・ 市内で生産され、生産工程が管理されている農作物を販売しています（朝市）。

・・・等

⑤ すべてのライフステージを通じて

- ・ 乳幼児期の各健診時の歯科健診・歯磨き指導、学校での年1回の歯科健診、成人式に成人を対象に、また30代女性を対象にそれぞれ無料歯科健診を行っています。

(4) 計画策定に向けての今後のスケジュール説明

今後の予定は下記の通りです。

- H21.9 第2回 瑞穂市食育推進会議
瑞穂市食育推進計画素案の作成
- 11 第3回 瑞穂市食育推進会議
瑞穂市食育推進計画素案の修正
- 12 第4回 瑞穂市食育推進会議
瑞穂市食育推進計画の策定

(5) その他

各委員が自己紹介を兼ねて、現在行っている食育の活動及び、食育推進計画で瑞穂市の目指す姿などについて、意見を述べました。

- ・ 石山委員：教師をしており子供達と接する機会が多いです。朝ご飯を食べない子がおり、現状をみてなんとかしなければいけないと思います。また生協の理事をしていますが、よく食育の話しをします。自分自身も勉強しなければと思います。色んなところで、きっとそれなりのことをしていると思いますが、それが見えてこず、どこで何をしているのかがわからないので、各団体の連携が大事なことだと思っています。
- ・ 馬場委員：保育園児と小学生の子供がいます。料理をしていると興味をもってくるので、一緒に作ったり、何が体にいいのかを教えています。また家でオクラなど種から育てています。目指す姿としては子供と親と一緒に学んでいけるとよいと思います。
- ・ 大野委員：色々な場所でボランティアを行っています。親子ばかりではなく、3世代で食育を行うことが大事だと思います。農業体験などを通して、食べる時に自然と感謝ができるような、子供が育ってほしいです。また、現在、食料自給率が低いのに、スーパーなどでは食品があふれており、その低さが実感できておらず、危機感がもてていないと思います。
- ・ 加藤委員：これから歯の健診の時などに、食べ方等も一緒に伝えなければいけないと思います。たくさんある食材の中から、選択する力をつけないといけないです。消費することが中心となっていますが、生産→流通→消費と一連のながれを知ることが大事だと思います。
- ・ 河野委員：学校で食物を育てる取組みがされていますが、種や苗

を植えてから収穫までの、草とりや、水やり等中間の苦
労は、保護者、ボランティアの方が行っていることが多
いのが現状です。そのため本当の意味で、食べ物に対し
て感謝できていないと思います。また子供の頃からの習
慣が大事であり、親がしっかりと食に対するありがたさ
などを教えていくことが必要だと思います。

- ・小林委員：岐阜地区の食育担当、人材育成、飲食店等から情報を
発信してもらうために、パンフレットを配布、野菜たっ
ぷりキャンペーン等行い、環境整備をしています。目指
す姿としては、元気な心と体、感謝の心をもつ、どの年
代でも選んで食べる力をつける、ということを目指し
ます。
- ・千田委員：健診を受けても、受けたら終わり、生活にフィード
バックできていないです。特定健康診査も始まり、市で
はますます目が届かなくなっていると思います。病院で
教室を開いたりしていますが、興味のある人しかこない
です。目指す姿としては、旧穂積町は都市化しつつあり
ますが、旧巣南町にはまだ農業が残っているので、その
特徴をうまく生かしていければと思います。
- ・棚橋委員：女性の会で活動しています。昨年はメタボリックシン
ドローム予防の調理実習を年2回行い、約100名の参
加がありました。今年もまた違うテーマでの調理実習を
予定しています。また12月は正月料理について行っ
たりもしています。
- ・林 委員：食生活改善協議会では、私達の健康は私達の手でをス
ローガンに活動しています。夏休みには親子料理教室を
開催しており、昨年は300名ほどの参加がありました。
60歳以上の男性を対象に料理教室も行っていま
す。また地産地消を推進しています。目指したい姿とし
ては、地域で作られたものを感謝する、元気な体と心
をつくるということです。
- ・広瀬委員：みょうがぼちなど郷土料理を伝承したり、親子料理で
食育の大切さなどを伝えています。しかし、参加者は決
まった人になってしまいます。食を通じて生活リズムを
つくっていけるといいと思います。

・堀口委員の代理人

今井田真千子氏：

活動としては、保育園などでの食育活動、県からの委
託でスーパーでの食育活動など、様々な場所で地域活動
をしています。最近感じることは、小学校へ料理を教え
に行くと、食べる量が少ない、好き嫌いが激しい、反応
がうすくうれしいのかわからない、また60歳以上の
方は逆に食べすぎだと感じています。

- ・松久委員：高齢者とかかわっており、ピンピンコロリとよく言い
ますが、そのような最後を迎えられることが理想だと思
います。心と体の両方そろっているのが、本当の健康だ
と思いますが、高齢者になってもそうあるためには、子
供の時からの姿勢が大事だと思います。また、この地域
で生きていきたい、生きていこうと思える地域作りをし

	<p>ていきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副会長：知識ではなく、実践・実行できるようになることが大切なことだと思います。子供の頃の体験はとても大事なことであり、それを次の世代へ伝承していけるようにしたいです。そして命を育むもの＝食ということだと思います。また、事前に事務局から食育推進計画の素案を作成してもらい、次回の会議でそれをもとに審議を進めていきたいと思います。 ・会長：各委員から、瑞穂市として目指す姿について、意見が出ました。これらを事務局にとりまとめてもらい、次回の会議でまず目指す姿を決定し、そしてそれに向かってどのように進めていくかを、素案をもとに話し合いたいと思います。
<p>事務局 (担当課)</p>	<p>瑞穂市 市民部 健康推進課</p> <p>TEL：058-327-86111</p> <p>FAX：058-327-4556</p> <p>e-mail：kenkou@city.mizuho.lg.jp</p>